

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い市町村の取組状況調査表

市町村名	結城市
------	-----

1 時間外在校等時間の状況（市町村立学校の平均値）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
小学校	29:07	34:46	43:53	44:12	34:46	40:22	29:39
中学校	36:03	47:59	46:59	51:53	48:03	54:08	40:54

2 教育委員会が実施（主導）する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】（アウトソーシングを含む。）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期制に伴う、成績処理、通知票作成の業務削減 (R3～) ・ 給食費の公会計化 (R4～) ・ 市主催の夏休みの作品審査を現職教員から退職教員へ移行 (R3～) ・ 留守番電話機の導入 (R1～) ・ 市独自の出勤システムの導入 (H30～) ・ 計画訪問時の指導案作成の負担軽減 (H30～) → 指導案のデータベース化 ・ オンライン研修会の実施 (R2～) ・ 学校行事の精選（規模の縮小、廃止）(R2～) 例) 運動会の半日開催、文化祭、学習発表会、校外学習等 ・ 中学校における「結城市部活動経営方針」の周知・徹底 ※資料参照 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「部活動終了時刻に退勤」をめざした、教職員の意識改革と勤務時間の管理 ・ 活動時間：通年18時終了、週2回17時30分下校の実践 ・ 単独指導による放課後の時間の有効活用 例) 1週間で顧問一人当たり2時間×2日＝4時間、4時間×1ヶ月(4週)＝16時間 ・ 部活動複数顧問制と部活動数の見直し ※資料参照 例) 部活動数14→11、顧問24人（令和4年度予定）
--

【教職員の意識改革に関する取組】

<ul style="list-style-type: none"> ・ グランドデザイン、教員評価に係る自己申告書への働き方改革に関する事項の追加 ・ 時間外在校等時間の結果をもとにした管理職への指導・助言 ・ 校長会資料に「今月のスクラップ」の項目を設定 ・ 計画訪問の全体指導の際、「働き方改革」の目的と必要性について説明 ・ 会議のスリム化、午前中5時間授業、日課表の変更、下校パトロールの工夫による負担軽減、一斉下校日の設定による複数回下校指導の回避、学校だよりや週予定表などのPDF配信、部活動の精選と複数顧問制による事務処理時間の確保や定時退勤日の推進、成績処理期間の設定などの実施

【その他時間外の原因分析・解消に関する取組】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内に勤務する副校長、教頭、教務主任に対する「勤務に関するアンケート」の実施と分析 設問：役職、経験年数、4月の時間外勤務時間 時間外勤務時間に行っている仕事 4月当初に時間をかけて行いたい業務 現在の職に就くにあたって、不安に思ったこと、心配であったこと ・ 学校間、学校教育委員会間の電話のルール整備 ・ 各種学校訪問の効率化に向けた体制整備 ・ 中学校の日課調整の取組 日課の調整に努め、毎日30分の時間縮減が可能になり、退勤時間17時30分を実現した。 ・ 教育長の意向が市全体へ浸透し、教職員の意識の変革が見られ、各学校の時間外の減少に繋がっている。
--